

### 令和4年度前期講義開始

ここ2年間のコロナ禍での新年度開始とは異なり、令和4年度は、4月5日に新入生だけではあったものの（保護者・ご家族の会場への入場はできなかった）入学式も神戸ポートアイランドホールにて挙行され、4月11日（月）から前期の講義が始まっています。今年度は、久しぶりに緊急事態宣言やまん延防止措置重点地域の指定のない状態で、通常通りの新年度開始になりました。入学式では、本財団の評議員でもあり、神戸新聞社相談役で（公財）ひょうご観光本部長の高士薫氏（昭和50年法学部卒）による「きら星の神大卒業生 あなたも」と題する記念講演も行われました。その後、新入生に対してはオリエンテーションも行われ、学生諸君にとってはようやく今年度からは通常の大学生活を送れるのではないかと感じがしています。

### 学生の戻ってきた六甲台キャンパス

前期の講義は、コロナ感染対策の下で、通常の対面方式と遠隔・オンライン方式を組み合わせて実施されています。コロナに感染した者、濃厚接触者と認定された者で待機期間中の者、さらに基礎疾患のある者で要配慮者と認定された者は遠隔・オンラインで講義に参加しますが、通常の学生は、原則、キャンパスの講義室で講義を受講することになり、ようやく六甲台キャンパスにも学生が戻ってきました。もちろん講義室での対面

方式での講義もコロナ対策は十分にしたうえで実施されております（飛沫感染防止のため出席者のマスク着用や間隔を開けた着席。教員はマスクをしたまま講義を実施しています）ので、参加する学生も安心して受講できる状態になっています。ただ半面、学生がキャンパスに戻ってきたのはよいのですが、朝夕方の通学時間帯にはJR六甲道や阪急六甲から大学に来る（あるいは大学から帰る）バスが、ここ2年間にはなかった混雑状況になっており、通常の通学時間帯はこのような状態だったのかと思いつながら、苦痛を感じている学生や教職員も多いのではないかと感じています。この春のJRや神戸市バスの時刻改正で、列車やバスの本数が減っていることが混雑に輪をかけているように感じるのは筆者だけではないと思います。特に、朝の通学時間帯には、JR六甲道からの乗客が多く、そこで満員になってしまい、阪急六甲での学生の積み残しが増加して、結局は臨時増発のバスが運行している状況などを目の当たりにすると、コロナ前の状態に徐々に戻るのも、もう少し時間がかかるなあと感じています。

### 海外との行き来はまだ戻らず

ウイズ・コロナで日常が徐々に戻ってきていますが、海外との行き来はまだ十分コロナ前に戻っているわけではありません。日本政府の判断で、外国人の国内入国者数の制限があるために、留学生の中で入国できない学生がおり、彼ら（彼女ら）に対してはオンラインで対応せざるをえない状況にあります。特に、神戸大学に来る学生数の多かった中国からの留学生は、日中間の航空機運航が十分でないために来日できていない学生が多くなっています。

また、2月末に始まったロシアのウクライナ侵攻に関連して、神戸大学でもウクライナ救援基金の募金活動を行うことにより、人道的支援を行っていかうという活動を実施しております。なお、これに関連して、阪神地区在住のロシア人の方（小生の自宅近くの大阪のロシア料理のレストランのマスターやその友人）にお話をうかがうと、確かにロシアがウクライナで行っていることに危惧を持っているといわれるのですが、ロシアの銀行取引がストップされているのでクレジットカードが使えず、さらに料理の材料が輸入できないために困っているとおっしゃっていました。国家間の武力攻撃で影響を受け不自由を被るのは、本国はもちろん、様々な地域にいる関係国の住民なのだと実感できる出来事ではあります。

我々神戸大学の教員も、渡欧するための航空機の運航に減便や経路変更のための時間の超過といった支障があり、さらに原油価格の高騰での航空運賃の値上げなどが影響して、なかなか海外、特にヨーロッパの国々との交流が復活できない状態になっています。

### コロナ対策の進展

コロナ対策で重要なのがワクチン接種になるといわれています。3回目のワクチン接種をすることでオミクロン株にも有効に対応できるのですが、副反応を恐れてなかなか3回目接種が進んでいないとの報道もあります。神戸大学では、ご家族も含めてワクチンの職域接種を実施しています。学生がキャンパスに戻ってきている現状では、食堂や様々な場所での接触が目につきますので、できればワクチン接種をしたうえで、十分なコロナ対策の上、通学してもらいたいものです。我々教員

も、マスク着用の下で講義をしております関係で、90分間の講義では息が切れることもあるのですが、これも学生や教員自身のコロナ防衛策として今年度は我慢です。

早く世界が平和な状態に戻り、コロナ前の普通の状態の日常に戻ってくることを願っている今日この頃です。

六甲台キャンパスには学生が戻ってきて、かなり日常が復活しているのですが、食堂の営業時間など最低限必要な時間帯に限られているためにまだ完全な状態ではありません。ここ2年間の研究活動の停滞が早く解消されることを待ち望んでいるのは筆者だけではないと思います。

### 令和4年度事業計画について

公益財団法人神戸大学六甲台後援会は、財団設立以降、主に本学の社会科学系部署の学術の発展と教育の充実に寄与することを目的として次のような事業を行っています。

- (1) 学術交流の促進に対する助成
- (2) 学術成果の公開に対する助成
- (3) 教育の充実に対する助成
- (4) 学術基盤の整備に対する助成
- (5) 学術交流施設の維持管理

このような各種事業は、皆様から今までにいただいた寄附金の運用収益や新たに卒業生の皆様等からいただいた貴重なご寄附により行っています。

令和4年度事業計画につきまして、その概要をご報告申し上げます。

事業計画は、昨年12月、社会科学系各部署に対して助成事業

の募集を行い、応募申請された各種事業について助成事業選考委員会において、それぞれの事業が本財団の公益事業として相応しいかを審査し、その結果を基に理事会において審議・承認されたものです。

1. 学術交流の促進に対する助成	計	1,750
(1) 海外研究活動支援		1,130
ア. 海外派遣支援		
(2) 学会・シンポジウム・カンファレンス・ワークショップ等開催支援	計	620
2. 学術成果の公開に対する助成	計	250
(1) 学術研究成果刊行に対する支援		220
(2) 海外学術雑誌投稿に対する支援		30
3. 教育の充実に対する支援	計	1,673
(1) 学部学生の教育に対する支援		683
ア. 成績優秀者に対する奨学金支給(社会科学特別奨励賞)		
イ. 4年間の成績優秀者に対する支援(六甲台賞)		
ウ. 各部局における各種教育プログラムに対する支援		
エ. 学部学生の海外派遣に対する支援		
オ. 学部相互履修科目開講支援		
カ. 寄附講義開講支援		
キ. キャリア形成に対する支援		
(2) 大学院学生の教育に対する支援		650
ア. 各部局における各種教育プログラムに対する支援		
イ. 大学院生の海外派遣に対する支援		
ウ. 神戸大学MBA加護野忠男論文賞		

エ. エクスターンシップ実施支援

(3) 特定の基金による学部学生及び大学院学生の教育に対する支援 340

ア. 凌霜研究奨学基金による教育に対する支援

イ. 田崎奨学基金による奨学金支給

ウ. 久研究奨学基金による海外研究活動に対する支援

4. 学術研究に対する支援 計 650

(1) 研究プロジェクトに対する支援

(2) 社会システムイノベーションセンターに対する支援

(3) 特定の基金による学術研究に対する支援

ア. 襄山研究奨学基金による学術研究に対する支援

5. 学術基盤整備に対する支援 計 303

6. 学術交流施設の維持管理による学術交流の促進に関する事業

計 30

合計 4,656

六甲台賞の授与について

令和3年度の「六甲台賞」が各学部において授与されました。六甲台賞は、六甲台3学部を卒業する者で、各学部において学業成績が最も優秀であった者に対し、その努力を讃えるため授与されるもので、平成31年度に神戸大学六甲台後援会が凌霜43年会から引き継いだものです。受賞されたのは次の方々です。経済学部では徳村日菜乃、経営学部では瀧浪隆太、法学部では谷川幸太郎の皆さんでした。

神戸大学MBA加護野忠男論文賞

3月26日(土)、令和3年度MBA加護野忠男論文賞の授与

式が行われました。受賞されたのは、金賞は伊藤俊介氏の「ハイテク・スタートアップにおける飛躍的成長の成功要因に関する研究」、銀賞は渡瀬小百合氏の「勤続年数が情緒的コミットメントに与える影響」、銅賞は澤田浩佑氏の「職場における『嫌い』の研究」上司に対する『好悪』がコンフリクト発生時の行動に与える影響」です。

なお、MBA加護野忠男論文賞は、今までは神戸大学MBA内部で行っていたものを令和2年度から神戸大学六甲台後援会の事業として行っているものです。

いつも皆様の「ご寄附誠にありがとうございます」

前号でご報告させていただいた以降、年度末までに次の皆様から「ご寄附をいただきました」。

道関貞夫様（昭31経営） 1万円、渡会武嗣様（昭30経営） 5万円、裏山基金代表宗像正幸様（昭38経営） 150万円です。

これで令和3年度中の受入額は、合計1,022万7,500円になりました。

令和4年度になってからは（4月25日現在）、奥井秀穂様（平3法） 5千円、吉田昭彦様（昭32経営） 2万円、鶴 浩一様（昭32経営）、佐藤禎雄様各5万円、三宅基治様（昭44経済） 7万7千円、原田壽夫様（昭40経営） 10万円、根岸 哲様（昭40法） 20万円です。誠にありがとうございます。

毎回お願いしています寄附金の送り先は左記のとおりです。また、本財団ホームページからも「寄附（クレジットカードによる「寄附」、インターネットバンキングによる「寄附等）」いただけますのでご利用ください。よろしくお願い申し上げます。

◎銀行送金の場合（メール・電話・FAXでも結構ですから、送金のことについて事務局にご一報ください）

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください）

口座番号 0098019116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

専用の郵便払込取扱票により、郵便局の窓口からお振り込みいただく場合は、手数料はかかりませんが、郵便局の制度変更により令和4年1月17日からの「寄附」は、現金で「寄附」される場合は、加算料金110円が必要となりました。なお、ゆうちょ銀行の通帳（払戻し請求書が必要）またはキャッシュカードご利用の場合は、加算料金はかかりません。詳しいことは、郵便局の窓口にてお尋ねください。

◎本財団ホームページからのご寄附

ホームページ「ご寄附」のWEB申込みフォームから「寄附」いただけます。 <http://www.rokodaifund.com>

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

E-mail: [koenkai@rokodaifund.com](mailto:koenkai@rokodaifund.com)